

2025年

建築・建築材料は

何を目指すか

- 床材料、施工に関する
いくつかの旬な話題
東京科学大学 横山 裕 … 36
- 大切に使って賢く選んで上手に壊す
早稲田大学理工学術院 輿石 直幸 … 40
- 歴史・ふるさとが感じられる
建築仕上げ2025
工学院大学 田村 雅紀 … 42
- 今後の建築業界雑考
芝浦工業大学 古賀 純子 … 44
- 2025年、建築仕上技術において
目指すべきもの
大林組 奥田 章子 … 46
- 社会課題に対する建築仕上材料・技術に
関する私見
戸田建設 山本 拓弥 … 48

2025年のニーズに応える材料・工法

- 意匠性・耐候性を極めた外壁用仕上げ材
フジワラ化学 高木 貴浩 … 50
- 軽量セメントモルタル外壁 外張り断熱・付加断熱工法
富士川建材工業 大原 信二 … 52
- 2025年の社会ニーズ・課題に対応する
セルフレベリング材
MUマテックス 松尾 太一 … 54
- 外構工事の省施工・省人化に貢献する
超速硬型の無収縮セメントミルク
四国化成建材 大熊 由貴子 … 56
- 10分で歩行可能、道具を必要としない
超速硬型コンクリート補修材
ヤブ原産業 黒田 匠 … 58
- 耐久性を維持しつつ省力化を図った
進化型アスファルト防水工法
日新工業 七牟禮 博幸 … 60
- 長年の実績を有するコンクリート保護塗料と
特殊補修工法
大日技研工業 高須 正己 … 62
- 2025年の社会ニーズに対応した
材料・工法データシート …… 65

今、私たちの暮らす「社会」には、大きな課題が山積している。そしてそれらの課題は、「建築」の抱える課題と無縁でないどころか、深いつながりがある。少子化・人口減は建設業における工事の担い手不足に直結し、さらに工事業者は、「働き方改革」によって労働環境の变革も迫られている。地球温暖化の危険が指摘され、CO₂排出量削減が必須となる中、産業界とりわけ建設業の担う責任は大きくなっており、建築材料の開発においても、性能面だけでなく、環境保全の視点が不可欠となっている。また、自然災害の頻発は、都市のあり方、建築のあり方の再考を促している。それらの現象は、「社会」と「建築」、および「建築仕上げ」の関係が密接であることを示すものであり、同時に、建築において課題を解決しようとする取り組みが、社会的課題の解決に貢献できることも示している。

本特集では、そんな2025年に、建築において課題が密接であることを示す方向について、識者諸氏の意見を紹介するほか、メーカー各社による、2025年のニーズに応える材料・工法のレポートも掲載し、新たな年のトレンドを探っていく。

編集部